

生産計画系モジュール(MS/MRP,CAP)

期間（標準日数）：4 日

コースの概要

Oracle E-Business Suiteの生産計画系モジュールの機能と操作を中心にご紹介するコースです。生産計画処理を通じて、生産計画系モジュールの対応範囲と使用法をご理解頂けます。

計画系の製品である基準計画・資材所要量計画・能力計画モジュールの主要概念と特徴をご理解頂けます。需要予測データの設定、登録、ロード方法 / 修正方法、基準需要計画のロード / 修正方法、基準生産計画（MPS）と資材所要量計画（MRP）の生成、計画結果の評価と購買管理モジュール（PO）や工程管理モジュール（WIP）へのデータのロード方法をご説明します。

【注意】

本コースは現在定期開催しておりません。

Applications Boot Camp での受講をお勧めいたします。

Applications Boot Camp の詳細

Applications Boot Camp の最新スケジュール

個別の開催を希望される方は研修コース リクエストフォームからリクエストしてください。

対象者

End Users

前提条件

必要とされる前提コースまたは前提知識

MRP II 基本概念の知識のある方

Familiarity with basic MRP concepts

推奨される前提コースまたは前提知識

設計・部品表管理モジュール（BOM,ENG）

生産管理系機能概要

コースの目的

生産計画系モジュールの概念と処理を理解する

生産計画系モジュールの処理手順を実行する

生産計画系モジュールにおける需要の取り扱い方を理解する

生産計画系モジュールによる生産計画、資材計画を理解する

生産計画系モジュールによる生産能力計画を理解する

コースの内容

生産計画系モジュール全体の説明

需要予測情報の管理

基準計画の管理

ラフカット負荷計画によるマスタースケジュールの評価

ロット生産タイプの資材の所要量計画

連続生産タイプの資材の所要量計画

負荷計画による資材計画の評価

資材計画の勧告内容の管理

他のモジュールとのインタフェース